

カナダ セントメアリーズ大学

[2019年6月～2019年9月分]

現代政策学部3年 山本李虹

こんにちは。今回は6月から9月までの4ヶ月間の様子を紹介したいと思います。また、学校やハリファックスにどんな変化があったのかも紹介したいと思います。

ハリファックスは季節の移り変わりがとても早く、特に夏がとても短いです。6月からだんだんと暖かくなってきてとても過ごしやすい気温になります。

この時期から学校のアクティビティーでカヌーやスケートなどが始まります。また、6月にはリーブフェスタ、7月にはカナダデー、8月はプライドパレードなど、ハリファックスやダートマスで様々なイベントが開催されとても賑やかな街に変化します。



特にプライドパレードは印象的で、日本だと特にこういうイベントが少ないのでLGBTQの事を詳しく知る機会がなかったのですが、カナダではLGBTQにすごく寛容的でした。日本ではあまり見ないような環境に驚きながらも、本来は日本でもこうあるべきで、隠さないと生きにくい環境であることにショックを受け、もっと考えなければならぬ問題だと感じました。



学校について

セントメアリーズは、2ヶ月に一度クラスが変わるのでこの4ヶ月間で二つクラスが上がりました。レベル3の先生はライティングに力を入れていたり、レベル4の先生はスピーキングに力を入れていたりなど、先生によって授業の進め方や、スタイルが違うので毎回新鮮な気持ちでセメスターを始めることができます。また、レベル4からはEAP(English for Academic Purposes)とEPPC(English for Personal and Professional Communication)のクラスに分かれます。EAPはアカデミックな内容で大学進学する人向けの授業です。

そして、午後のクラスも選択が可能になります。ビジネス・カンバセーション・ツーリズム・アカデミックの4つから選択可能になります。現在ツーリズムを選んでいるのですが、授業毎にダウンタウンに出かけたりなどとても楽しいです。

また、9月は日本人の生徒が増える時期で、日本人で溢れかえっています。その中でどうやって自分の英語力を向上させるのか考えていくことがとても大事ななと思いました。



勉強方法

この4ヶ月間で自分が重きを置いたことはリスニングとスピーキングです。理由としては、コミュニケーション力を高めたいと思ったからです。コミュニケーション力を高めるためには、会話やビデオなどを聞いて、そのまま口に出して覚えることが話せるようになるための一番の早道だと思ったからです。

そのため、意味も知っていてよく使う言葉だけど、スペルが分からないということが多々あります。ですが、このワードやこのセンテンスはこういう場面で使うのだなということが分かっているならば、自分で使うこともできるし色々なことに置き換えることが可能です。

ライティングやスピーキングは後からでも覚えられることなので、一番何を伸ばしたいのか自分でよく考えて優先順位をつけることが大事だなと思いました。

日常生活

この4ヶ月間で一番何が変わったかという、スピーキング力と交友関係です。スピーキング力の向上と交友関係は密接な関係があると感じました。なぜかという、ネイティブの友達を作ることによって、語学学校では習わないような言い回しやスラングというのをたくさん学ぶことができます。

例えば挨拶は How are you? や What's up? だけではなく How's your day going? や What are you up to? など色々なバリエーションがあります。それらを自分も使っていくことで会話がスムーズに進むようになりました。

友達を沢山作る事で、違う学校のアクティビティーに参加させてもらえたり、現地の友達の家族がディナーに招待してくれたり、色々なところに連れて行ってくれたりします。学校のアクティビティーだけでは経験できない事が沢山出来るので、現地の友達を作る事をお勧めします。

もちろん語学学校で習う英語はもちろん大事ですし、なにより基本なので大切にしなければいけないことだと思うのですが、学校だけでは“生きた英語”を知ることはすごく難しいと感じました。



自分から英語を使わないといけない環境に飛び込むことや、日本人がいないところに飛び込むのは勇気いることですが、行って損はないし、やってみないと始まらないなと感じた4ヶ月間でした。まだ残り5ヶ月間あるので色々なことに挑戦していきたいと思っています。

